

1 未来の自分に出会える古書店



- ① 齋藤孝/著
- ② 文藝春秋
- ③ 1450円
- ④ 15サ020

コンプレックス、いじめ、進学、恋愛、身近な人の死……。誰しも必ず突き当たる問題に、本は道しるべを与え、成長を促してくれます。また、それらの本には未来を生きていく上でのヒントが隠されています。そんな本の力を私たちに教えてくれる一冊です。

2 親愛なるナイチンゲール様
あなたが弱者と共にあったように



- ① 川嶋みどり/著
- ② 合同出版
- ③ 1600円
- ④ 28カ019

彼女が生きた18～19世紀の英国社会は、「看護」という概念が浸透しておらず、さらに病院で病人の世話をするのは、貧しい女性が行うものと考えられる時代でした。その中で、彼女は苦悩しながらも現代看護の礎を築きます。彼女の生き様にも注目したい一冊です。

3 過労死しない働き方
働くリアルを考える



- ① 川人博/著
- ② 岩波書店
- ③ 800円
- ④ 36カ020

大人になって働くのは大切なこと。でも、働き過ぎは自分の心や命を追い詰めてしまいます。「過労死」の実態とその解決策について、事例を挙げて書かれているこの本は、中学生と先生方にぜひ読んでほしい一冊です。

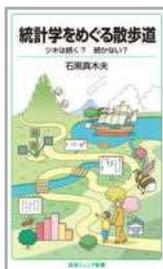
4 学校に行きたくない君へ 続
大先輩たちが語る生き方のヒント。



- ① 全国不登校新聞社/編
- ② ポプラ社
- ③ 1400円
- ④ 37セ018

皆さんは、「学校に行きたくない!」と思ったことがありますか?この本は、国内唯一の不登校専門紙「不登校新聞」に掲載された、当事者・関係者が勇気付けられるインタビューが多数紹介されています。シリーズで2巻ありますので、是非読んでみてください。

5 統計学をめぐる散歩道
ツキは続く?続かない?



- ① 石黒真木夫/著
- ② 岩波書店
- ③ 880円
- ④ 41イ020

天気予報や選挙の当選確率、テスト結果の偏差値を出すのに必要な統計学。くじの当たり外れやじゃんけんの勝敗などを題材に、孫の「ユウ」の素朴な疑問に「じい」が答える形で話が進みます。統計学を楽しく学べる一冊です。

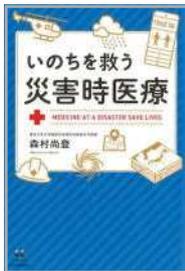
6 グレタのねがい
地球をまもり未来に生きる



- ① ヴァレンティナ・キャリニ/著
杉田七重/訳
- ② 西村書店
- ③ 980円
- ④ 45キ020

2018年の夏、北欧のスウェーデンは記録的な暑さに見舞われ、多くの方が亡くなりました。15歳のグレタは地球温暖化を食い止めるために声を上げます。1人で始めたストライキは、やがて世界中の人々を動かし始めます。希望と勇気をもらえる一冊です。

7 いのちを救う災害時医療



- ① 森村尚登/著
- ② 河出書房新社
- ③ 1400円
- ④ 49モ019

私たちの日常を大きく変えてしまう災害。地震や台風などの災害時に、どうやって人の「いのち」を救うのか。災害時医療の最前線で活躍する著者が、命を守るための人々の働きや、災害に備えて日頃から大切にしたい考え方を教えてくれる一冊です。

8 宙(そら)からきた子どもたち



- ① 森ヒロコ/絵
中川素子/文
- ② 柏艚舎
- ③ 1500円
- ④ 72モ019

宙の子どもたちは住みたい星を見つけるために地球に降り立ちます。宙の子どもたちから見た地球は多々問題がありそうです。私たちが普段感じることのない視点から、大切なことを語りかけ、気付かせてくれる一冊です。

9 夢のつかみ方、挑戦し続ける力
元宝塚トップスターが伝える



- ① 早霧せいな/著
- ② 河出書房新社
- ③ 1350円
- ④ 77サ019

長崎県の公立中学校に通う14歳の女の子が目指した世界は、あの「宝塚」。2度の受験失敗やコンプレックスを乗り越えて、トップスターに成長した著者が、夢のを見つけ方や夢を実現させるために大切なことを読者と同じ目線で教えてくれる一冊です。

10 めんどくさがりなきみのための
文章教室



- ① はやみねかおる/著
- ② 飛鳥新社
- ③ 1200円
- ④ 81ハ020

「めんどくさがりな人ほど、文章の才能がある……」この本には、作文・メール・レポートから小説にいたるまで、文章を書くことが得意になる秘訣が盛りだくさんです。10万回くらい生きている猫マ・ダナイと作文が苦手な文岡健のコミカルな会話も楽しめます。

11 セカイの空がみえるまち



- ① 工藤純子/著
- ② 講談社
- ③ 1300円
- ④ 91ク018

東京・新大久保，そこは日本有数のコリアンタウン。新大久保の駅に降りた主人公の空良が目にしたのは，むき出しになった他国人への差別意識でした。

ヘイトスピーチとは何か，真の世界平和とは何か，考えさせられる一冊です。

12 俳句を楽しむ



- ① 佐藤郁良/著
- ② 岩波書店
- ③ 860円
- ④ 91サ019

俳句について，皆さんはどのような印象をもっていますか？この本は，俳句に関する基本的な知識や上達のためのテクニックなどが分かりやすく書かれています。また，同世代の作った俳句も紹介されているので共感したり，17音の多彩な表現にはっとさせられたりします。

俳句の魅力がぎゅっと詰まった一冊です。

13 ワタシゴト
14歳のひろしま



- ① 中澤晶子/作
ささめやゆき/絵
- ② 汐文社
- ③ 1400円
- ④ 91ナ020

広島原爆の歴史を人ごとでは無く「私ごと」としてとらえさせられる一冊です。

また，この本は広島史を様々な形で「渡しごと」として私たちに手渡してくれます。

これからの未来を背負う私たちに必要なことを教えてくれる一冊です。

14 魔女と花火と100万円



- ① 望月雪絵/作
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91モ020

「文化祭が来年から中止になる！」文化祭を復活させるために，仲間たちに強引に秘密の作戦に巻き込まれていく杏。

それは大人たちへの反抗か？それとも，大人を説得する努力か？

自分たちの夢を実現するために奮闘する姿は，勇気と気付きを与えてくれます。

15 ぼくにだけ見えるジェシカ



- ① アンドリュー・リス/作
橋本 恵/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1500円
- ④ 93ノ019

学校で孤立しているフランスのもとに，1人の女の子が現れます。そこから，周りの人には見えないジェシカとフランスの不思議な生活が始まります。なぜ，ジェシカが現れたのか，なぜぼくにだけ見えるのか，読み進めるうちに謎が解けていきます。